

# フクムギ情報

福井県産【大麦・小麦】の  
収量アップを目指して!!

JA福井県

No.2

(ファイバースノウ・はねうもち)

大麦は、水はけの良い圃場選びが第一です。水稻刈取後に降雨が続くと、圃場に水が停滞し土が乾かず播種作業や麦の生育に大きく影響するので、排水対策をしっかり行い播種作業までに土壤状態が良好となるよう努め、適正播種で高品質・安定生産を図りましょう。

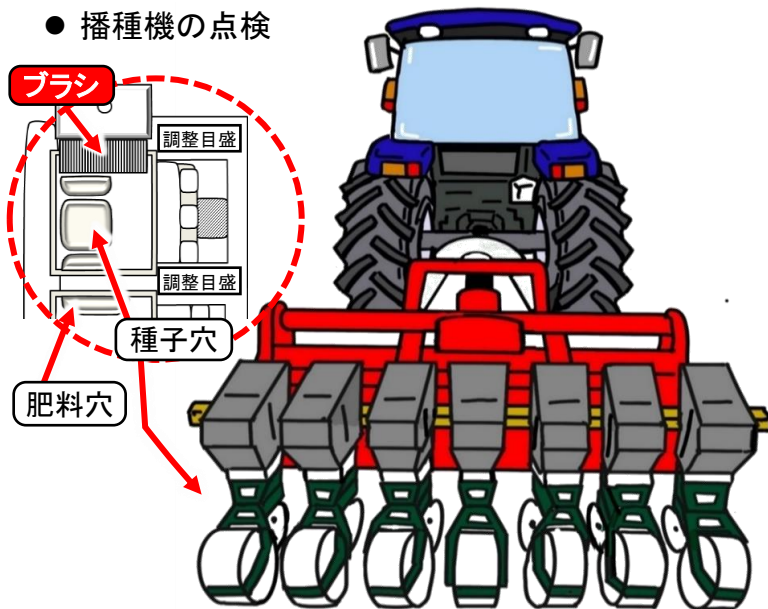
## 1. 播種のポイント

～土壤状態が良い(土壤水分が低い)ときに、丁寧な播種作業を～

- 播種は、10月中旬(10日～20日)頃までに行い、越冬前の茎数確保に努めましょう。
- 極端に早い播種は、硝子粒や細麦の発生が高くなる可能性があります。また、極端に遅い播種は、生育期間が短くなり、収量・品質が低下するので、避けましょう。
- 麦は酸性土壌に弱いため生育障害を起こし、収量低下となります。事前に土壌改良資材を散布して酸度矯正を図りましょう。

### ①播種準備

- 種子消毒(ベンレートT)種子重量の0.5%種子粉衣
- 播種機の点検



### ②適正播種

- 播種期 : 10月中旬
- 播種量 : 6～7kg/10a
- 播種深さ : 3cm程度
- 施肥資材 : 大麦専用一発肥料  
\* 肥料については、各地区指定のものを使用しましょう。
- 施肥量 : 35kg～(圃場に応じて加減する)



### ③播種後は排水溝の手直し

- 播種作業で崩れた排水溝は、直ぐに手直し!



## 2. 除草剤(使用時の注意事項・ポイント)

雑草が繁茂すると、肥料の養分が雑草に吸収されてしまい収量が減ります。また、雑草に負けない麦づくりを目指して、除草対策(適量の除草剤散布)をしっかりと行いましょう。

- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、適当な土壤水分の時に処理する。(除草剤共通)
- 散布ムラが生じやすいので、風の無い時に散布するなど均一散布に努める。(粒剤・細粒剤)
- 排水不良田や大雨が予想される場合は、効果の面や薬害の恐れがあるため使用しない。(除草剤共通)
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、登録の範囲内で希釈水量を多めに散布する。(液剤・フロアブル剤)

除草剤についてのお問い合わせは、各営農指導員まで

### 【カラスノエンドウ対策】

発生が多い圃場は、土壌処理剤の中で比較的に効果が高い剤を使用し、まずは土壤表面近くから出芽してくる「カラスノエンドウ」の発生を抑えましょう。また、圃場周辺部の除草対策も行いましょう。

- リベレーターフロアブル(播種後～麦3葉期まで)
- リベレーターG(播種後～麦2葉期まで)